



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和6年11月7日) 第22号



学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

八鹿青溪中 HP

PTA 教育講演会

11月2日(土)、文化週間の初日に PTA 教育講演会が開催され、夢こらぼ主宰・生涯学習インストラクターの松尾弥生様から「『話し上手・聴き上手』～アナタとワタシの笑顔のために～」という演題でお話を伺いました。松尾様からの投げかけに対して生徒たちもよく反応し、たいへん楽しい講演会になりました。90分の講演があつという間に終わった感じがしたのはきっと私だけではないと思います。講演の中で特に印象に残った言葉を以下に紹介させていただきます。



分かりやすく楽しい講演会で生徒からも好評でした

- ・人が人を判断する3つの要素(A 表情・態度 B 声のトーン・大きさ・速さ C 話の内容)のうち、Aは55%、Bは38%、Cは7%。つまり、人は大半が見た目で判断しているもの。
- ・大切にしたい3つの笑みとは「笑顔」「笑声」「笑心」。
- ・人と人の会話では「返事」が大切であり、相手の話を聴いて言葉・表情・態度で返す。
- ・「こんにちは」の「は」を高くしてあいさつすると印象が良くなる。
- ・質問する時には、自分の事を少し喋ってから相手の事を聴くのが良い。
- ・相手とつながりたいなら、相手が心を開くのを待つのではなく、まず自分から心を開くことが大切。
- ・聞き上手のコツは「多少の驚き」と聞く「表現力」。うなずきやあいづちを入れるのが良い。

先日、こんな記事を目にしました

“学校行きしなにコンビニ寄って出てきたら小学生4人組がすごく申し訳なさそうな顔して待っていて、聞いたら「車にボールぶつけちゃった。」と。

でも傷が全然なかったし、車両保険も加入できないくらい古い車だから、「いいし遊びに行き～」って言ったら、自分のスマホで親を呼んだらしくて10分ぐらいで親も来てしっかりとした謝罪に加えて、警察呼ぶかまで聞いてくれた。

「親がまともだと子どももそれに倣^{なら}うんやろなあ」とひたすら感心。あと、今の子どもは小4でマイスマ(自分のスマートフォン)を持っているのだなあ。小4の時の自分がこの立場なら、間違いなく何も言わずに逃げらると思う。偉いなあ。

「24年落ちの古い車だけど、それなりに大切にしているからボール当てられるのはそりゃ嫌よ。でも、彼らからしたら見知らぬ人の車だし、声かけるのも相当勇気がいったと思う。勇気出して正直に言ってくれたことと対応の誠実さ(親御さん含め)で怒りなんか吹っ飛んだし、むしろこちらが勉強させられた。」



愛車にボールをぶつけてしまったと小学生4人組から謝罪を受けたことを、AさんがSNS上で報告。愛車は無

傷だったものの、小学生の親御さんが駆け付け、謝罪と警察を呼ぶかどうか確認するなど誠実で丁寧な対応に感心したというエピソードに、たくさんのコメントが寄せられ話題を集めました。

「子どもたちの正直さと責任感には感心。親の教育の大切さが表れている。」

「娘もこういう子どもに育てほしいし、『ちゃんと教育しよう』ってなりました。」

「許す方も許される方も素晴らしいです。」

「小さいのに感心しますね!大人でも逃げる人がいるかもしれないです。Aさんのような方がオーナーさんで良かったです ほっこりしました!」

「子どもたちの正直さと責任感には感心しますね 親の教育の大切さが表れていると思います。今の時代、子どもがスマホを持っているのも驚きですが、それを適切に使えているのも素晴らしいですね。」

「やらかしちゃったことも、誠実に生きてれば後になって良い思い出になるけど、ごまかし続ける人は大人になってもごまかし逃げてビクビクしながら生きることになる。勇気を持って謝れたことは、彼らにとって必ず財産になるはず。」

多くの人の心をほっこりさせた小学生たちと親御さんの正直で誠実な対応。当時のことを、Aさんに聞きました。

車は無傷…なのに、親が「警察は呼びますか?」「指導の不行届き」と謝罪。

—今回のことは、学校に行く途中だったとのことですが、学生さんですか?

「はい。大学2回生です。」

—愛車にボールをぶつけたと謝罪をしたのは小学生4人組だとか。

「親御さんが来られるまでその子どもたちと話をしていたのですが、そこで小4だと言っていましたね。」

—投稿しようと思ったのは。

「ポスト内でも明言していますが、起こしてしまったことに対する対処というか対応が親御さんを含め初動から完璧すぎて。逆に自分が勉強させられたぐらいだったので、それらに対する驚きが投稿の原動力になったように思います。」

—ボールをぶつけられたとのことでしたが、車のどこの部分だったのでしょうか?

「車の左側、と彼らは言っていたので確認したのですが、左の後部ドアに少し砂がついていたぐらいでそれ以外に気になるところは全くありませんでした。」

—小学生たちとその親御さんから謝罪を受けた時のことをお聞かせください。

「4人の中で1人がスマホで親御さんに電話をしたので、来られたのもその子どものお母様だったと思います。こちらは傷がなかったことも確認していたので最初から警察を呼ぶつもりは毛頭なかったのですが、あちらの方から『警察は呼びますか?』とか、場所がコンビニの駐車場だったこともあり『指導の不行届きであった』とか、いろいろと気を遣っていただきながら陳謝していただきました。」

「一報を受けパートのお仕事を抜けてきたとおっしゃっていたので、なおさらあまり時間も気も使わせてはいけないと思い、そこであらためて『こちらは大丈夫なので、お引き取りください』とお伝えして解散しました。」

—小学生や親御さんたちの対応に、あらためてどう思った?

「とてもうれしい気持ちになりましたね。ボールをぶつけられている側なのですがね(笑)。傷もなかったし、逃げてでもバレない状況だったのに、4人全員待っていてくれました。自分がその年齢の時にそれができるか…。逆に自分の日頃の行いを見つめ直す機会になったように思います。」

